



イルカは目が見えるの

40メートル先ぐらいまでは、よく見える

イルカのショウなどで、空中の高い所にある風船などを、イルカが水中から飛び上がって鼻先でつつく芸があります。このとき、イルカは風船を目で見えています。イルカは、40メートル先ぐらいまでは、よく見える目をもっています。イルカがくらす水中では、光は遠くまでとどかず、どんなにすんだ水でも40メートル以上先は見えません。栄養が豊かな海では、ほんの10メートル先が、やっと見えるていどです。そんな生活にあったイルカの目です。

イルカは音で、前方を見ている

イルカは、時速60キロメートルというスピードで泳いでいるので、40メートル先までしか見えないと、あぶなくてしかたがありません。水中では、音は、空気中より速く、確実に遠くまで伝わります。そこで、イルカは、耳が発達していて、耳でえさや、あたりの様子を見ていると思われます。実験によると、イルカは目かくししても、にごった水の中でも、うまく障害物をよけたり、すりぬけたりでき、遠くに置いた2種類の魚のうち、好きな魚のほうにまっすぐに近づきます。

超音波はイルカの武器

イルカの耳は、人間の耳では聞き取れない高い音、超音波をよく聞き取れます。イルカは、四方に超音波を放射し、これが、さまざまなものにぶつかってはね返ってくる音を、聞いています。放射した超音波が反射して返ってくると、次の超音波を放射しています。こうして、イルカは、300メートル先の魚や水中の状態を、わずか0.4秒で知ることができるといわれています。（監修・今泉 忠明）

